

2022.6.23 藏田 桃子

夜間のトイレ回数の減少が期待できる過活動膀胱治療薬

『ベオーバ錠』

杏林製薬株式会社 野村 慶一 様

場所：コンパス薬局藤沢

参加者:沢先生、内科職員さん、熊山 ともみ、木村 亜希子、鈴木 里菜、吉井 智子
石田 菜央、波間 薫、隅山 毬子、井上 栞里、藏田 桃子

過活動膀胱治療において患者様のコンプライアンスの上昇が1番の課題となっている。
今回の勉強会では、効果実感が高く副作用も少ない薬として多くの患者様に使用されているベオーバ錠について勉強した。

【効果・効能】

過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

【用法・用量】

通常、成人にはビベグロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する。

【禁忌】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。

【副作用】

重大な副作用：尿閉（頻度不明）

その他の副作用：口内乾燥、便秘、尿路感染、残尿量増加（1～2%）

【特徴】

膀胱平滑筋に存在する選択的 β_3 アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する。

1 回排尿量の増加による 1 日の排尿回数の減少・夜間排尿回数の減少が見られ患者様の効果実感が高く 9 割の方が良くなったと実感している。

併用禁忌の薬剤がなく、口渇などの副作用も他の過活動膀胱治療薬に比べて少ない。

【質疑】

Q、1 日 1 回とあるがタイミングは朝昼夕のいつが良いか？

A、タイミングの指定はないため患者様のライフスタイルに合わせた用法で服用可能。

Q、食後投与とあるが空腹時の場合は血中濃度の変化はあるか？

A、食後に比べて 1.3 倍ほどの増加がみられたが、副作用が発現するほどではないため寝る前の服用でも問題ない。

【考察】

過活動膀胱治療薬では夜間排尿回数の減少が難しく、効果実感が得られずに治療を中断してしまう方も少なくないが、ベオーバ錠は患者様の効果実感が高く副作用も少ないため、患者様のコンプライアンス上昇につながりやすいと感じた。